

愛知県における医療的ケア児関連事業の実施状況

〔資料2-1〕

1 協議の場の設置状況

令和7年4月現在

県機関名	協議の場の名称	設置年度	実施方法	対象地域	構成員 (人数)	構成団体 (◎：構成員に医療的ケア児等コーディネーターを含む)														
						医師会	看護系団体	福祉事務所	保健所・保健センター	児童相談所	教育委員会	学校	医療機関	訪問看護	社会福祉協議会	当事者団体等	相談支援事業所	障害児通所支援事業所	その他の障害福祉サービス事業所等	その他
尾張福祉相談センター	尾張中部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張中部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張中部障害保健福祉圏域	19			○	○						○		○	○	○	○
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー/学識経験者(大学)													
尾張福祉相談センター	尾張東部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張東部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張東部障害保健福祉圏域	17			○	○						○		○	○	○	○
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー													
尾張福祉相談センター	尾張西部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張西部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張西部障害保健福祉圏域	23			○	○						○		○		○	○
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー													
尾張福祉相談センター	尾張北部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の尾張北部障害保健福祉圏域会議を活用	尾張北部障害保健福祉圏域	25			○	○						○		○		○	○
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー													
海部福祉相談センター	海部障害保健福祉圏域会議	令和元年度	既存の海部障害保健福祉圏域会議を活用	海部障害保健福祉圏域	35				○			○	○				◎	○	◎	○
						その他(詳細)	市町村、就労・生活支援センター、地域アドバイザー、公共職業安定所													
知多福祉相談センター	知多障害保健福祉圏域会議子ども部会	平成30年度	既存の知多障害保健福祉圏域会議に「子ども部会」を新規設置。	知多障害保健福祉圏域(半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)	43			○	◎	○					○		◎	◎		◎
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー													
西三河福祉相談センター	西三河南部東部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の西三河南部東部障害保健福祉圏域会議を活用	西三河南部東部障害保健福祉圏域(岡崎市、幸田町)	19			○	○			○			○		○	○	○	○
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー/就業・生活支援センター													
西三河福祉相談センター	西三河南部西部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の西三河南部西部障害保健福祉圏域会議を活用	西三河南部西部障害保健福祉圏域(碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市)	25			○	○			○	○		○		○		○	○
						その他(詳細)	市町/地域アドバイザー/就業・生活支援センター													
豊田加茂福祉相談センター	西三河北部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の西三河北部障害保健福祉圏域会議を活用	西三河北部障害保健福祉圏域(豊田市、みよし市)	12			○	○			○	○				○		○	○
						その他(詳細)	就業・生活支援センター/地域アドバイザー/公共職業安定所													
新城設案福祉相談センター	東三河北部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の障害保健福祉圏域会議を活用	東三河北部圏域(新城市、設楽町、東栄町、豊根村)	23			○	○								○		○	○
						その他(詳細)	市町村、地域アドバイザー、就業・生活支援センター													
東三河福祉相談センター	東三河南部障害保健福祉圏域会議	平成30年度	既存の東三河南部障害保健福祉圏域会議を活用	東三河南部圏域(豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市)	22			○	○		○	○					○	○	○	○
						その他(詳細)	市/就業・生活支援センター/公共職業安定所/地域アドバイザー													
愛知県教育委員会(特別支援教育課)	愛知県特別支援学校医療的ケア連絡協議会	平成17年度	愛知県内の特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議	愛知県	43	○	○				○	○	○							○
						その他(詳細)	愛知県福祉局													

2 医療的ケア児支援センターのコーディネーター配置状況等（令和7年4月時点）

○ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修の受講有無に関わらず、医療的ケア児等コーディネーターとしての役割を担っている人数等

センター名	現人数	(内訳 人数)		職種
		研修受講あり (予定を含む)	研修受講なし	
あいち医療的ケア児支援センター	1	1	0	看護師
青い鳥医療的ケア児支援センター	2	2	0	相談員／支援員、看護師
三河青い鳥医療的ケア児支援センター	3	2	1	相談員／支援員、看護師
にしおわり医療的ケア児支援センター	3	3	0	相談員／支援員、看護師、その他
信愛医療的ケア児支援センター	3	3	0	相談支援専門員、看護師
にじいろ医療的ケア児支援センター	6	3	3	相談支援専門員、その他
だいどう医療的ケア児支援センター	5	5	0	看護師、その他

3 令和6年度医療的ケア児等アドバイザー事業の活動実績

(1) 事業の内容

○ 困難事例に直面した医療的ケア児支援者からの派遣依頼に基づき、依頼内容や地域を考慮のうえ、適切なアドバイザーを派遣する。

(2) アドバイザー：11 法人（12 名）に委嘱（右記のとおり）

(3) 相談件数：176 件（令和5年度 184 件）

～相談件数の内訳～

- 地域で対応困難な事例に係る助言（27 件）
- 地域のネットワーク構築に向けた調整（9 件）
- 障害保健福祉圏域等、広域的課題解決に向けた体制整備への支援（48 件）
- 地域の社会資源の点検に関する援助（55 件）
- その他（37 件）
 - ・ 支援者及び行政からの相談に対する情報提供や意見交換 等

愛知県医療的ケア児等アドバイザー担当圏域 MAP (R6.4.1 現在)



4. 愛知県における医療的ケア児関連事業の取組実績及び実施見込み

〔資料2-4〕

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
福祉局 障害福祉課	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 [主催]医療療育支援室 [日時]令和6年9月10日～11日[講義]令和6年9月25日～26日[演習] [場所]名古屋国際センター 別棟ホール [内容]医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 [修了者]70名(名古屋を除く)[市町村及び医療的ケア児支援センターから推薦を受けたコーディネーター] [備考]名古屋と合同で実施(一般社団法人医療的ケア児等コーディネーター支援協会に委託し実施)	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 [主催]障害福祉課 [日時]令和7年8月26日～27日[講義]令和7年9月17日～18日[演習](予定) [場所]調整中 [内容]医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 [参加者]70名程度(名古屋を除く)[市町村及び医療的ケア児支援センターから推薦を受けたコーディネーター] [備考]名古屋と合同で実施(株式会社Well Being Labに委託し実施)
	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修 [主催]医療療育支援室 [日時]令和6年11月～令和7年1月までの間で圏域別に計6日開催(1圏域1日間) [場所]圏域の医療的ケア児支援センター又は県の会議室等 [内容]医療的ケア児等への支援に関する最新の制度や動向等の時節に応じた講義のほか、地域の社会資源の点検・創出等に関するワークショップや事例に対する意見交換等を実施。 [受講者]90名(名古屋を除く) [愛知県(名古屋を除く)の養成研修を修了した者、養成研修を受講していないがコーディネーターとして愛知県内の市町村(名古屋を除く)に配置されている者]	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修 [主催]障害福祉課 [日時]調整中 [場所]調整中 [内容]医療的ケア児等への支援に関する最新の制度や動向等の時節に応じた講義のほか、地域の社会資源の点検・創出等に関するワークショップや事例に対する意見交換等を行う。 [受講対象者]愛知県(名古屋を除く)の養成研修を修了した者、養成研修を受講していないがコーディネーターとして愛知県内の市町村(名古屋を除く)に配置されている者
	医療的ケア児等アドバイザーの配置 [主催]医療療育支援室 医療的ケア児等支援に経験豊富な方11法人[12名]を医療的ケア児等アドバイザーとして委託し、医療的ケア児等コーディネーター等の支援者に対して、医療的ケア児等とその家族の個別の状況や地域の実情に応じた助言、支援を行う。 ※資料2-3 令和6年度医療的ケア等アドバイザー事業の活動実績に記載	医療的ケア児等アドバイザーの配置 [主催]障害福祉課 医療的ケア児等支援に経験豊富な方10法人[11名]を医療的ケア児等アドバイザーとして委託し、医療的ケア児等コーディネーター等の支援者に対して、医療的ケア児等とその家族の個別の状況や地域の実情に応じた助言、支援を行う。
	医療的ケア児支援センターの設置 [主催]医療療育支援室 [内容]医療的ケア児とその家族が居住する地域に関わらず、等しく適切な支援を受けられるよう地域の支援体制を専門的・広域的に支えるため、専門相談や研修、情報発信、関係機関連携を行う。 [設置場所]医療療育総合センター、青い鳥医療療育センター、三河青い鳥医療療育センター、一宮医療療育センター、信愛医療療育センター、重心施設にいのちのいえ、大同病院	医療的ケア児支援センターの設置 [主催]障害福祉課 [内容]医療的ケア児とその家族が居住する地域に関わらず、等しく適切な支援を受けられるよう地域の支援体制を専門的・広域的に支えるため、専門相談や研修、情報発信、関係機関連携を行う。 [設置場所]医療療育総合センター、青い鳥医療療育センター、三河青い鳥医療療育センター、一宮医療療育センター、信愛医療療育センター、重心施設にいのちのいえ、大同病院
	喀痰吸引等特定行為事業者の登録事務 [主催]障害福祉課 [内容]一定の研修を修了した介護職員等は喀痰吸引等特定行為事業者として登録を受けた事業者において、喀痰吸引等の行為を実施できる。 [登録事業所数(障害者総合支援法)] 令和6年4月1日現在 477件 ※介護保険法における登録は除く。	喀痰吸引等特定行為事業者の登録事務 [主催]障害福祉課 [内容]一定の研修を修了した介護職員等は喀痰吸引等特定行為事業者として登録を受けた事業者において、喀痰吸引等の行為を実施できる。 [登録事業所数(障害者総合支援法)] 令和6年7月1日現在 537件 ※介護保険法における登録は除く。
愛知県医療療育総合センター	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) (共催)名古屋大学医学部付属病院(者)寄附講座 ■第12回 あいち小児在宅医療・福祉・教育研究会 (日時)令和6年12月15日(日)13時～17時 (場所)名古屋大学医学部付属病院中央診療棟3階講堂 (テーマ)多機能事業所による医療的ケア児支援～地域共生社会への実現へ～ (演題/講師) 基調講演「無床診療所医師が重症心身障害児施設を作った理由」/医療法人信愛会、社会福祉法人明世会理事長(医師) シンポジウム ①「みんなで支える心と体の成長、共に分かち合う喜びのある暮らし」/愛知県医療的ケアライン代表(保護者) ②「リハビリからハビリテーション そして、その先を目指して」/千寿デンタルクリニック院長(歯科医師) ③「医療的ケア児とその家族が地域と『出会う』瞬間について」/終訪問看護ステーション(看護師)	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) (共催)名古屋大学障害児(者)寄附講座 ■第13回 あいち小児在宅医療・福祉・教育研究会 (日時)令和7年12月14日(日)13時～17時 (場所)名古屋大学医学部付属病院中央診療棟3階講堂 (テーマ)学校教育と医療的ケア (演題/講師) 基調講演「未定」/港特別支援学校(学校長) シンポジウム ①「未定」/(家族) ②「未定」/名古屋特別支援学校(看護師) ③「未定」/春日井市(学校教育課) (募集人数)150人
	■重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」 (日時)令和6年9月21日(土)10時～15時10分 (場所)愛知県医療療育総合センター (内容)講演、実習、試食 (演題/講師) ①「嚥下障害診療のキホン」/愛知県医療療育総合センター(医師) ②「私たち、こんな感じで食べてます」/愛知県医療療育総合センター(看護師、理学療法士、言語聴覚士) ③「やさしい食事を考える」/愛知県医療療育総合センター(管理栄養士) ④「なにはなくとも口腔ケア」/愛知県医療療育総合センター(歯科衛生士)	■重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」 (日時)令和7年9月20日(土)10時～15時10分 (場所)愛知県医療療育総合センター (内容)講演、実習、試食 (演題/講師) ①「摂食嚥下の基本ーセラピストの立場からー」/愛知県医療療育総合センター(理学療法士、言語聴覚士) ②「私たち、こんな感じで食べてます」/愛知県医療療育総合センター(看護師) ③「やさしい食事を考える」/愛知県医療療育総合センター(管理栄養士) ④「なにはなくとも口腔ケア」/愛知県医療療育総合センター(歯科衛生士) (募集)48人

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
愛知県医療療育総合センター	<p>■重症心身障害児者の呼吸ケア研修 (日時)令和6年11月17日(日)10時～15時30分 (場所)愛知県医療療育総合センター (内容)講演、実習 (演題/講師) ①「呼吸障害の病態と内科的管理法～長期的視点と医療機器の役割」/愛知県医療療育総合センター(医師) ②「日常生活にとりいれる呼吸理学療法～本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント～」/愛知県医療療育総合センター(理学療法士) ③「呼吸障害に対する外科治療～気管切開術、喉頭気管分離術とその注意点」/愛知県医療療育総合センター(医師) ④「呼吸の原点としての口腔ケア～口腔病態と口腔ケアのポイント～」/愛知県医療療育総合センター(歯科医師)</p> <p>■重症心身障害児者看護実践研修 (日時)令和6年9月25日(水)9時～12時30分 令和6年10月31日(木)9時～15時 (場所)愛知県医療療育総合センター (内容)病棟実習・講義 (演題/講師)「呼吸障害を起こす理由と看護ケアのポイント」/愛知県医療療育総合センター(医師) (実習)病棟実習(呼吸・排痰介助、経管栄養、口腔ケア、人工呼吸器の取扱い、排痰補助装置の説明及び使用場面の見学、気管カニューレ、胃ろう管理などの見学)</p>	<p>■重症心身障害児者・医療的ケア児の呼吸ケア研修 (日時)令和7年11月16日(日)10時～15時10分 (場所)愛知県医療療育総合センター (内容)講演、実習 (演題/講師) ①「呼吸障害の病態と内科的管理法～長期的視点と医療機器の役割」/愛知県医療療育総合センター(医師) ②「日常生活にとりいれる呼吸理学療法～本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント～」/愛知県医療療育総合センター(理学療法士) ③「呼吸障害に対する外科治療～気管切開術、喉頭気管分離術とその注意点」/愛知県医療療育総合センター(医師) ④「呼吸の原点としての口腔ケア～口腔病態と口腔ケアのポイント～」/愛知県医療療育総合センター(歯科医師) (募集人数)28人</p> <p>■重症心身障害児者看護実践研修 (日時)令和7年9月2日(火)時間未定 令和7年9月3日(水)時間未定 令和7年9月10日(水)時間未定 (場所)愛知県医療療育総合センター (実習)病棟実習(呼吸・排痰介助、経管栄養、口腔ケア、人工呼吸器の取扱い、排痰補助装置の説明及び使用場面の見学、気管カニューレ、胃ろう管理などの見学) (募集人数)未定</p>
福祉局 子育て支援課	<p>医療的ケア児保育支援事業</p> <p>医療的ケア児の受入れを行う保育所等に、医療機関との連携の下、看護師等を配置し、医療的ケアを実施する場合に要する経費を補助する。 【実施主体】市町村(指定都市・中核市を除く) 【対象市町】春日井市、豊川市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、犬山市、常滑市、江南市、稲沢市、新城市、大府市、尾張旭市、岩倉市、日進市、田原市、あま市、東郷町、大治町、阿久比町、東浦町、武豊町(22市町・30か所) 【補助率】国1/2、県1/4、(市町村)1/4 (※)国2/3、県1/6、(市町村)1/6 (※)補助率の嵩上げ条件 3年後の医療的ケア児の保育所等の利用を希望する人数(見込み)に対して、医療的ケア児の受入人数(見込み)が上回る整備計画書を策定する場合。 【補助基準額】 (1か所あたり) 看護師等の配置 5,290千円/補助者の配置 2,232千円/研修の受講支援 300千円 医療的ケア児の備品補助 100千円/災害対策備品整備 100千円 (1市町村あたり) 医療的ケア児巡回型による配置 5,010千円/医療的ケア児保育支援者の配置 2,232千円/ガイドラインの策定 577千円 検討会の設置 360千円</p>	<p>医療的ケア児保育支援事業</p> <p>医療的ケア児の受入れを行う保育所等に、医療機関との連携の下、看護師等を配置し、医療的ケアを実施する場合に要する経費を補助する。 【実施主体】市町村(指定都市・中核市を除く) 【対象市町】瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、大治町、阿久比町、東浦町、武豊町(34市町・59か所) 【補助率】国1/2、県1/4、(市町村)1/4 (※)国2/3、県1/6、(市町村)1/6 (※)補助率の嵩上げ条件<<改正>> 医療的ケア児の受入れ体制拡充のため、新たな保育所等において、医療的ケア児の受入れを開始する自治体の場合。 【補助基準額】 (1か所あたり) 看護師等の配置 5,290千円/補助者の配置 2,412千円<<改正>>/研修の受講支援 300千円 医療的ケア児の備品補助 100千円/災害対策備品整備 100千円/園外活動移動支援 40千円<<創設>> (1市町村あたり) 医療的ケア児巡回型による配置 5,010千円/医療的ケア児保育支援者の配置 2,412千円<<改正>>/ガイドラインの策定 577千円 検討会の設置 360千円</p>
保健医療局 医務課	<p>小児在宅医療普及推進事業[医療介護総合確保基金事業]</p> <p>【主催】[公社]愛知県医師会[委託] ①【小児在宅医療推進企画委員会】 【開催回数】年3回(5月、9月及び1月) 【場所】愛知県医師会仮事務所(Web併用) 【内容】県内全域の小児在宅医療提供体制を整備するため、地域の小児在宅医療の代表者等により、研修内容の策定・評価等を実施。 【主な検討事例】研修内容の策定・評価 【構成員】11名(内訳:愛知県医師会担当理事等)</p> <p>②【小児在宅医療に従事する医師向け研修】 (日時)令和6年10月6日(日) 午前10時30分から午後4時まで 【場所】名古屋サンスカイルームA室・E室(名古屋市中区錦1-18-22 名古屋ATビル2階) 【内容】診療所の医師等を対象に、人工呼吸器や経管栄養等の医療的ケアを必要とする児の処置等に関する研修の開催 【参加者】94名(医師、看護師、リハビリ職種等)</p> <p>③【小児医療従事者ネットワーク構築研修】 (1)尾張西部小児在宅医療講習会 (日時)令和6年11月2日(土) 午後2時から午後6時まで 【場所】一宮市医師会館 2階 大会議室 【内容】地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 【参加者】78名(医師、看護師、リハビリ職種等)</p>	<p>小児在宅医療普及推進事業[医療介護総合確保基金事業]</p> <p>【主催】[公社]愛知県医師会[委託] ①【小児在宅医療推進に係る調整会議等】 【開催回数】年3回[時期未定] 【場所】愛知県医師会仮事務所(Web併用) 【内容】県内全域の小児在宅医療提供体制を整備するため、地域の小児在宅医療の代表者等により、研修内容の策定・評価等を実施。 【主な検討事例】研修内容の策定・評価 【構成員】11名(内訳:愛知県医師会担当理事等)</p> <p>②【小児在宅医療に従事する医師向け研修】 (日時)令和7年10月頃[予定] 【場所】名古屋サンスカイルーム[予定] 【内容】診療所の医師等を対象に、人工呼吸器や経管栄養等の医療的ケアを必要とする児の処置等に関する研修の開催 【参加者】定員未定(医師、看護師、リハビリ職種等)</p> <p>③【小児医療従事者ネットワーク構築研修】 (1)西三河南部小児在宅医療講習会 (日時)未定 【場所】未定 【内容】地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 【参加者】定員未定(医師、看護師、リハビリ職種等)</p>

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
保健医療局 医務課	<p>〔2〕知多半島小児在宅医療講習会 〔日時〕令和7年2月22日〔土〕 午後1時45分から午後5時45分まで 〔場所〕あいち小児保健医療総合センター 地下1階 大会議室〔Web併用〕 〔内容〕地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 〔参加者〕101名〔医師、看護師、リハビリ職種等〕</p>	<p>〔2〕海部小児在宅医療講習会 〔日時〕未定 〔場所〕未定 〔内容〕地域における医療的ケア児等の支援方法を学ぶ研修の開催 〔参加者〕定員未定〔医師、看護師、リハビリ職種等〕</p>
	<p>〔3〕小児在宅医療研修会・もーやっこジュニアの広場 〔日時〕令和6年10月26日〔土〕 午後1時30分から午後4時20分まで 〔場所〕瀬戸蔵 2階つばきホール 4階会議室 〔内容〕医師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修会を開催するとともに、医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築を目的とした交流の場も提供。 〔参加者〕168名〔医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児家族、学生等〕</p>	<p>〔3〕小児在宅医療研修会・もーやっこジュニアの広場 〔日時〕未定 〔場所〕未定 〔内容〕医師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修開催を開催するとともに、医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築を目的とした交流の場も提供。 〔参加者〕定員未定〔医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児家族、学生等〕</p>
保健医療局健康 医務部健康 対策課	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 【愛知県難病及び小児慢性特定疾病対策地域支援協議会】 〔主催〕健康対策課 〔日時〕令和6年11月22日（金） 〔場所〕自治研修所 〔内容〕 〔1〕愛知県における難病法に基づく医療給付及び小児慢性特定疾病医療給付等の状況について 〔2〕令和5年度難病患者地域ケア推進事業及び小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の実施状況について 〔構成員〕医療機関、患者・家族会、市町村（保健部門・福祉部門）、教育機関、保健所等</p>	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 【愛知県難病及び小児慢性特定疾病対策地域支援協議会】 難病の患者及び小児慢性特定疾病児童等への支援の体制の整備を図り、かつ、小児慢性特定疾病児童等に対し必要な医療等を切れ目なく提供するため、関係機関等との連携を図り、協議を行うことを目的に開催する。</p>
	<p>【調査】 〔主催〕瀬戸保健所 〔日時〕令和6年9月6日（金）、令和7年2月7日（金）、3月24日（月） 〔場所〕瀬戸保健所 〔内容〕 〔1〕管内の小児慢性特定疾病医療給付申請者の状況、瀬戸保健所の事業の情報提供 〔2〕院内における慢性疾患児への支援実態や課題について 〔構成員〕医療機関</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 〔主催〕瀬戸保健所 〔日時〕令和7年3月10日（月） 〔場所〕瀬戸保健所 〔内容〕 〔1〕情報提供 ・管内の小児慢性特定疾病児童の状況について ・管内小児慢性特定疾病児童の保護者向けアンケート調査結果について ・瀬戸保健所における小児慢性特定疾病児童への支援について 〔2〕講話 「慢性疾患をもつ子どもの自立支援」 講師 藤田医科大学保健衛生学部看護学科 准教授 田崎あゆみ氏 〔3〕自立支援に関する意見交換 〔構成員〕医療機関、市町村（母子保健・学校教育担当課）、児童発達支援センター、特別支援学校</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 〔主催〕春日井保健所 〔日時〕令和6年10月22日（火） 〔場所〕春日井保健所 〔内容〕 〔1〕報告 「春日井保健所における小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の取組状況について」 〔2〕情報交換 「各機関における長期療養児への関わりについて」 〔構成員〕学識経験者、訪問看護ステーション、市町村（母子保健・保育・学校教育担当課）、医療的ケア児支援センター、保健所職員</p>	<p>【関係機関等連携会議】（各保健所主催） 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p>
	<p>【関係機関等連携会議】 〔主催〕江南保健所 〔日時〕令和6年10月11日（金） 〔場所〕江南保健所 〔内容〕 〔1〕講話 小児慢性特定疾病児童等の就園について 〔2〕報告 保健所における小児慢性特定疾病児童等支援に関する取組みについて 〔3〕意見交換 小児慢性特定疾病児童等の就園状況について 〔構成員〕市町村（保育・母子保健担当課）、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 〔主催〕江南保健所 〔日時〕令和6年12月16日（月） 〔場所〕江南保健所 〔内容〕 〔1〕報告 ・小児慢性特定疾病児童の状況及び保健所の取組みについて ・小児慢性特定疾病児童等の就園に向けての現状及び課題 〔2〕意見交換 医療依存度の高い小児慢性特定疾病児童等の災害時における現状及び課題について 〔構成員〕医師会、歯科医師会、薬剤師会、医師会地域ケア協力センター、医師会在宅医療・介護サポートセンター、訪問看護ステーション連絡会、医療ソーシャルワーカー連絡会、患者家族会、市町村（福祉・保育・母子保健担当課）、保健所職員</p>	

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
保健医療局健康医療部健康対策課	<p>【事例検討会】 【主催】清須保健所 【日時】令和6年8月7日(水) 【場所】清須保健所 【内容】 就園に悩む家族への支援 【構成員】本児、保護者、患者家族会代表、通所事業所、学識経験者、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】清須保健所 【日時】令和7年2月14日(金) 【場所】清須保健所 【内容】 (1) 報告 ・令和5年度小児慢性特定疾病医療費助成受給者の状況について ・小児慢性特定疾病児童等自立支援事業実施状況について (2) 意見交換 小児慢性特定疾病児童等の就園・就学について 【構成員】訪問看護ステーション連絡会、相談支援事業所、関係行政機関職員(母子保健・保育・障害福祉・学校教育)、学識経験者、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】津島保健所 【日時】令和6年8月19日(月) 【場所】津島保健所 【内容】 (1) 報告 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の概要について (2) 議題 ・長期療養児に対する自立支援について あいち小児保健医療総合センター保健室 森本室長補佐 ・長期療養児の自立支援における現状と課題 小児慢性特定疾病児童等に関するアンケート結果、事例紹介 【構成員】教育事務所、医療的ケア児支援センター、市町村(学校教育・保育担当課)、あいち小児保健医療総合センター、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】津島保健所 【日時】令和7年1月21日(火) 【場所】津島保健所 【内容】 (1) 議題 難病及び小児慢性特定疾病対策について ・難病患者地域ケア推進事業について ・小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について (2) 災害時要支援者対策について (3) 意見交換「難病患者及び小児慢性特定疾病児童等が地域で生活していくために必要な支援体制について」 【構成員】医師会、在宅医療・介護連携支援センター、訪問看護ステーション連絡協議会、居宅介護支援事業者連絡会、医療的ケア児支援センター、難病相談室、難病団体連合会、管内市町職員(福祉・母子保健担当)、保健所職員</p>	<p>【関係機関等連携会議】(各保健所主催) 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p>
	<p>【調査】 【主催】半田保健所 【日時】令和6年7月1日(月)、7月3日(水)、8月13日(火) 【場所】半田保健所 【内容】 (1) 半田保健所小児慢性特定疾病児童等の現状について (2) 意見交換 【構成員】市町村(母子保健・保育・教育・障害福祉担当)、基幹相談支援センター、保健師学生、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】半田保健所 【日時】令和6年10月31日(木) 【場所】半田保健所 【内容】 (1) 半田保健所における小児慢性特定疾病児童等の現状について (2) 半田保健所小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について (3) 令和5年度小児慢性特定疾病医療費支給認定申請アンケート(プレ実態把握調査)の集計結果について (4) 情報提供 (5) 小児慢性特定疾病児童等及びその家族の自立支援促進に向けた実態把握調査及び取り組みに関する意見交換 【構成員】学識経験者、患者・家族団体、医療機関、訪問看護ステーション、障害者相談支援センター、市町村(母子保健・保育・障害福祉担当課)、あいち小児保健医療総合センター、健康対策課職員、保健所職員</p>	
	<p>【事例検討会】 【主催】知多保健所 【日時】令和6年10月30日(水) 【場所】知多保健所 【内容】 (1) 対象者の概要について (2) 在宅時に発災した場合の避難行動について 災害時の電源確保、避難先と避難時の注意点、避難時に必要な持ち物、災害時の連絡体制 (3) その他の支援について 【構成員】医療的ケア児支援センター、訪問看護事業所、相談支援事業所、市町村(防災・福祉・母子保健担当課)、保健所職員</p>	

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
保健医療局健康医療部健康対策課	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】知多保健所 【日時】令和7年2月7日(金) 【場所】知多保健所 【内容】 (1)管内の小児慢性特定疾病児童等の状況について (2)保健所における小児慢性特定疾病児童等の支援について (3)講話 「医療的ケア児の在宅療養支援～より良い支援に向けての地域づくり～」 (4)意見交換 「在宅療養支援のよりよい連携をするために」 【構成員】医療的ケア児支援センター、医療機関、訪問看護事業所、相談支援事業所、市町村(保健・母子保健担当課)、保健所職員</p>	<p>【関係機関等連携会議】(各保健所主催) 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p>
	<p>【事例検討会】 【主催】衣浦東部保健所 【日時】令和6年9月27日(金) 【場所】衣浦東部保健所 【内容】 (1)療養状況と災害時の対応について (2)災害時の課題について (3)災害時個別支援計画(案)について 【構成員】家族、医療機関、訪問看護事業所、重症心身障害児者施設、児童発達支援事業所、医療機器管理事業所、医療機器メーカー、相談支援事業所、市町村、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】衣浦東部保健所 【日時】令和7年1月22日(水) 【場所】衣浦東部保健所 【内容】 (1)指定難病特定疾患医療費受給者の状況及び保健所の難病患者地域ケア推進事業について (2)小児慢性特定疾病受給者の状況及び保健所の小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について (3)災害時用配慮者支援の取り組みについて 【構成員】患者団体代表、医療機関、訪問看護事業所、医療的ケア児支援センター、相談支援事業所、児童発達支援事業所、市町村、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】西尾保健所 【日時】令和7年1月15日(水) 【場所】西尾保健所 【内容】 (1)報告 「管内の小児慢性特定疾病児及び医療的ケア児等の状況と保健所の取り組みについて」 (2)講演 「西三河圏域の小児在宅医療を考える～医療的ケア児支援センターとの連携～」 (3)意見交換 「各機関における医療的ケア児等への災害対策の取組状況・課題について」 【構成員】医療機関、訪問看護ステーション、相談支援事業所、社会福祉協議会、特別支援学校、市町村(保健福祉・教育担当課)</p>	
	<p>【事例検討会】 【主催】新城保健所 【日時】令和6年6月19日(水) 【場所】新城保健所 【内容】就学に向けての支援について 【構成員】本児、父母、相談支援事業所、市町村(学校教育担当課)、特別支援学校、保健所職員</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】新城保健所 【日時】令和6年12月12日(木) 【場所】新城保健所 【内容】 (1)小児慢性特定疾病患者の状況と支援対策について (2)小児慢性特定疾病患者におけるアンケート結果について 【構成員】医療機関、医療的ケア児支援センター、訪問看護ステーション、基幹相談支援センター、地域包括支援センター、市町村(福祉・母子保健担当課)</p>	
	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】豊川保健所 【日時】令和7年2月18日(火) 【場所】豊川保健所 【内容】 (1)小児慢性特定疾患児童等の状況及び豊川保健所の取組み (2)災害時個別支援計画策定について (3)管内各市の避難行動要支援者に対する災害対策 【構成員】医療機関、医師会、学識経験者、 難病の子ども支援東海ネットワーク、日本ALS協会愛知県支部、保護者、居宅介護支援事業所、市町村(介護・防災・母子保健担当課)、保健所職員</p>	

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
保健医療局健康医療部健康対策課	<p>【関係機関等連携会議】 【主催】豊川保健所 【日時】令和6年11月6日(水) 【場所】豊川保健所 【内容】 (1)小児慢性特定疾病児(18トリソミー)の、災害時個別避難計画と連動して策定した災害時個別支援計画の事例報告 (2)各市の災害時個別避難計画の策定状況について (3)難病患者と災害対策～拡げよう！連携の輪～ 【構成員】医療機関、学識経験者、介護支援専門員、障がい者支援センター、医師会、市町村(障害福祉・高齢介護・福祉・母子保健担当課)、保健所職員</p>	
保健医療局健康医療部健康対策課	<p>【事例検討会】 【主催】豊川保健所 【日時】令和6年7月3日(水) 【場所】豊川保健所 【内容】医療的ケア児の就園について 【構成員】児童発達相談センター、保健所職員</p> <p>【事例検討会】 【主催】豊川保健所 【日時】令和6年8月2日(金) 【場所】豊川保健所 【内容】医療的ケア児(新生児、十二指腸閉鎖、鼻管栄養)とその家族への支援について 【構成員】市町村(母子保健・成人保健担当課)、保健所職員</p> <p>【事例検討会】 【主催】豊川保健所 【日時】令和7年3月6日(木) 【場所】豊川保健所 【内容】13トリソミーのくんと御家族の災害対策の応援ミーティング (市の災害時個別避難計画策定と連動して、災害時個別支援計画策定) 【構成員】保護者、医療機関、日中一時預かり事業所、相談支援専門員、訪問看護ステーション、民生委員、市町村(障害福祉担当課)、保健所職員</p>	<p>【関係機関等連携会議】(各保健所主催) 小児慢性特定疾病児童等及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携して支援する体制を確立することを目的に開催する。</p>
保健医療局医薬安全課	<p>薬剤師在宅医療対応研修</p> <p>薬剤師として在宅医療に必要な知識及びノウハウを取得するための研修会を開催する。(愛知県薬剤師会委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療専門職がそれぞれの専門分野を生かして連携し、質の高い医療を実施するため、在宅医療に必要な知識や能力を取得する研修を実施【多職種連携力向上研修:2回】 医薬品の影響を加味した上で栄養状態改善の提案をできる能力を取得するための研修を実施【栄養評価研修:1回】 褥瘡は適切な薬剤の使用により症状の改善が見込まれるが、非常に薬剤の選択が難しいことから知能・技能を取得するための研修を実施【褥瘡研修:3回】 薬剤師が小児在宅医療に積極的にに関わり、適切な薬物療法を提供できる能力を取得するための研修を実施【小児薬物療法研修:1回】 在宅の現場でより安全で質の高い症状緩和を提供できる能力を取得するための研修を実施【医療用麻薬適正使用研修:1回】 在宅医療にかかわる薬剤師の資質向上を図り、患者の生活の質を向上させるための研修を実施【薬剤レビュー研修:4回】 	<p>薬剤師在宅医療対応研修</p> <p>薬剤師として在宅医療に必要な知識及びノウハウを取得するための研修会を開催する。(愛知県薬剤師会委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療専門職がそれぞれの専門分野を生かして連携し、質の高い医療を実施するため、在宅医療に必要な知識や能力を取得する研修を実施【多職種連携力向上研修:2回】 医薬品の影響を加味した上で栄養状態改善の提案をできる能力を取得するための研修を実施【栄養評価研修:1回】 褥瘡は適切な薬剤の使用により症状の改善が見込まれるが、非常に薬剤の選択が難しいことから知能・技能を取得するための研修を実施【褥瘡研修:3回】 薬剤師が小児在宅医療に積極的にに関わり、適切な薬物療法を提供できる能力を取得するための研修を実施【小児薬物療法研修:1回】 在宅の現場でより安全で質の高い症状緩和を提供できる能力を取得するための研修を実施【医療用麻薬適正使用研修:1回】 在宅医療にかかわる薬剤師の資質向上を図り、患者の生活の質を向上させるための研修を実施【薬剤レビュー研修:4回】 在宅医療の推進啓発 地域医薬品供給体制確保事業 【地域医薬品供給体制推進検討会議:2回】 【フォーミュラ推進研修会:1回】
県民文化局学事振興課私学振興室	<p>【新規】愛知県私立幼稚園医療的ケア看護職員配置事業費補助金</p> <p>【目的】医療的ケア児が在園する私立幼稚園の看護職員等の配置に要する経費に対して補助し、幼稚園における医療的ケア児の受入環境整備を促進する。 【補助率】医療的ケア看護職員等の配置に要する経費の1/3 【令和6年度対象職員数(実績)】5人</p>	<p>愛知県私立幼稚園医療的ケア看護職員配置事業費補助金</p> <p>【目的】医療的ケア児が在園する私立幼稚園の看護職員等の配置に要する経費に対して補助し、幼稚園における医療的ケア児の受入環境整備を促進する。 【補助率】医療的ケア看護職員等の配置に要する経費の1/2 【令和7年度対象職員数(予定)】14人</p>
教育委員会特別支援教育課	<p>医療的ケア事業(医療的ケア連絡協議会)</p> <p>【愛知県特別支援学校における医療的ケア連絡協議会】 【開催回数】年3回予定(6/25、10/2、2/5) 【場所】自治センター会議室等 【内容】愛知県特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議 【主な協議事例】…愛知県の学校における医療的ケアに係る今後の在り方、各校からの審議事項 等 【構成員】43名(内訳: 医療的ケア実施校(校長)、医療的ケア指導医、愛知県医師会(学校保健部会代表)、看護師に関する団体等の職員代表等</p>	<p>医療的ケア事業(医療的ケア連絡協議会)</p> <p>【愛知県特別支援学校における医療的ケア連絡協議会】 【開催回数】年3回予定(6/24、10/14、2/5) 【場所】自治センター会議室 【内容】愛知県特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議 【主な協議事例】…愛知県の学校における医療的ケアに係る今後の在り方、各校からの審議事項 等 【構成員】47名(内訳: 医療的ケア実施校(校長)、医療的ケア指導医、愛知県医師会(学校保健部会代表)、看護師に関する団体等の職員代表等</p>

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
教育委員会 特別支援教育課	医療的ケア事業(指導医の派遣) 【愛知県立特別支援学校への指導医の派遣】 【回数】年3回(時期:各県立特別支援学校で設定) 【場所】各県立特別支援学校 【内容】県立特別支援学校において実施される医療的ケアを、安全かつ円滑に実施するため、小児科医等を学校に派遣し、医療的ケアに関する指導・助言、教職員及び看護師への医療的ケアの基礎知識に関する研修等を実施する。 【主な協議事例】医療的ケアに関する事例検討等 【構成員】12名(医療的ケア実施校12校に各1名、2校兼ねる医師2名)	医療的ケア事業(指導医の派遣) 【愛知県立特別支援学校への指導医の派遣】 【回数】年3回(時期:各県立特別支援学校で設定) 【場所】各県立特別支援学校 【内容】県立特別支援学校において実施される医療的ケアを、安全かつ円滑に実施するため、小児科医等を学校に派遣し、医療的ケアに関する指導・助言、教職員及び看護師への医療的ケアの基礎知識に関する研修等を実施する。 【主な協議事例】医療的ケアに関する事例検討等 【構成員】13名(医療的ケア実施校16校に各1名、うち2校兼ねる医師3名)
	医療的ケア事業(医療的ケアに係る研修) 【医療的ケア研修会】 【開催回数】年1回(8/6)【場所】自治センター会議室E 【内容】愛知県立特別支援学校において、校内で調整的な役割を果たす教員、養護教諭及び看護師を対象に医療的ケアの知識と技術の理解を目的とした研修を行う。 【学校看護師研修会】 【開催回数】年1回(8/1)【場所】自治センター会議室E 【内容】最新医療や看護技術、医療機器等に関する知識や技能を得るための研修。 【指導的立場にある看護師研修会】 【開催回数】年1回(未定)【場所】文部科学省 【内容】文部科学省主催の指導的立場にある看護師研修会への派遣。	医療的ケア事業(医療的ケアに係る研修) 【医療的ケア研修会】 【開催回数】年1回(8/18)【場所】自治センター会議室E 【内容】愛知県立特別支援学校において、校内で調整的な役割を果たす教員、養護教諭及び看護師を対象に医療的ケアの知識と技術の理解を目的とした研修を行う。 【学校看護師研修会】 【開催回数】年1回(8/18)【場所】自治センター会議室E 【内容】最新医療や看護技術、医療機器等に関する知識や技能を得るための研修。 【指導的立場にある看護師研修会】 【開催回数】年1回(未定)【場所】文部科学省 【内容】文部科学省主催の指導的立場にある看護師研修会への派遣。
	医療的ケア事業(医療的ケアガイドライン検討委員会の開催) 【医療的ケアガイドライン検討委員会の開催】 【開催回数】年2回 予定:(8/28、12/25) 【場所】自治センター会議室 【内容】教員・医師・看護師頭が連携し、安全に医療的ケアを実施するための手がかり、また本人・保護者にとって安心して医療的ケアを実施できるよう、学校の体制や実施上の配慮事項等を整理した医療的ケアガイドラインの作成 【構成員】10名程度(内訳:指導医、医療的ケアを実施する特別支援学校の長、看護師代表等)	医療的ケア事業(医療的ケアガイドライン検討委員会の開催) 医療的ケアガイドラインが策定されたため終了
	主任看護師活動経費 【主任看護師の配置】 医療的ケアに関する業務を包括的に支援し、その業務遂行及び調整を図る主任看護師を配置し、医療的ケアを実施する学校からの相談や関係者への支援・連絡調整を行う体制及び支援の強化を図る。 【業務内容】 ・医療的ケアに関する相談への支援や助言 ・医療的ケア関連業務の遂行 【拠点校】名古屋特別支援学校	主任看護師活動経費 【主任看護師の配置】 医療的ケアに関する業務を包括的に支援し、その業務遂行及び調整を図る主任看護師を配置し、医療的ケアを実施する学校からの相談や関係者への支援・連絡調整を行う体制及び支援の強化を図る。 【業務内容】 ・医療的ケアに関する相談への支援や助言 ・医療的ケア関連業務の遂行 【拠点校】名古屋特別支援学校
	医療的ケア事業(通学支援モデル事業) 【通学支援モデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、通学の途中に医療的ケアを行うことにより、スクールバス乗車ができず、保護者による送迎が必要な児童生徒に対し、本人は健康でも保護者の都合により送迎が困難な場合に学習機会を保障するとともに、あわせて保護者の送迎の負担軽減を図る。 【モデル校】名古屋特別支援学校、港特別支援学校 【対象者数及び支援回数】94人×24回 【その他】 ・通学途中に必要な看護師の派遣委託→本事業で支援(県と事業者が契約) ・通学支援に必要な介護タクシー等福祉車両利用→就学奨励費で補助(保護者と事業者が契約)	医療的ケア事業(通学支援モデル事業) 【通学支援モデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、通学の途中に医療的ケアを行うことにより、スクールバス乗車ができず、保護者による送迎が必要な児童生徒に対し、本人は健康でも保護者の都合により送迎が困難な場合に学習機会を保障するとともに、あわせて保護者の送迎の負担軽減を図る。 【モデル校】8校(名古屋特別支援学校、港特別支援学校、豊橋特別支援学校、岡崎特別支援学校、一宮特別支援学校、ひいらぎ特別支援学校、小牧特別支援学校、にしお特別支援学校) 【対象者数及び支援回数】246人×24回 【その他】 ・通学途中に必要な看護師の派遣委託→本事業で支援(県と事業者が契約) ・通学支援に必要な介護タクシー等福祉車両利用→就学奨励費で補助(保護者と事業者が契約)
	医療的ケア事業(校外学習付き添いモデル事業) 【校外学習付き添いモデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、医師の指示により看護師の付き添いがあれば保護者の付き添いなく参加が可能となる児童生徒の校外学習の実施にあたり、看護師の付添体制の構築を図る。 【モデル校】豊橋特別支援学校、ひいらぎ特別支援学校 【対象者数及び支援回数】 ・日帰り校外学習:74人(各1回) ・宿泊行事:9人(各1回)	医療的ケア事業(校外学習付き添いモデル事業) 【校外学習付き添いモデル事業の実施】 【内容】県立特別支援学校において、医師の指示により看護師の付き添いがあれば保護者の付き添いなく参加が可能となる児童生徒の校外学習の実施にあたり、看護師の付添体制の構築を図る。 【モデル校】8校(名古屋特別支援学校、港特別支援学校、豊橋特別支援学校、岡崎特別支援学校、一宮特別支援学校、ひいらぎ特別支援学校、小牧特別支援学校、にしお特別支援学校) 【対象者数及び支援回数】 ・日帰り校外学習:263人(各1回) ・宿泊行事:89人(各1回)
	モデル事業検討委員会 【モデル事業の検討委員会の実施】 【内容】通学支援モデル事業及び校外学習付添モデル事業の検討委員会をそれぞれ設置し、県内全域での実施に向けた検証を行う。 【実施回数】年2回(通学支援モデル事業1回、校外学習付添モデル事業1回) 【委員】医師、看護師、事業所職員、関係学校長 等	モデル事業検討委員会 【モデル事業の検討委員会の実施】 【内容】通学支援モデル事業及び校外学習付添モデル事業の検討委員会をそれぞれ設置し、県内全域での実施に向けた検証を行う。 【実施回数】年2回(通学支援モデル事業1回、校外学習付添モデル事業1回) 【委員】医師、看護師、事業所職員、関係学校長 等
	医療的ケア事業(非常勤看護師の配置 国庫補助活用) 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】99名 【その他】 ・国庫補助を活用している非常勤看護師。	医療的ケア事業(非常勤看護師の配置 国庫補助活用) 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】105名 【その他】 ・国庫補助を活用している非常勤看護師。

関係部署	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施見込
教育委員会 特別支援教育課	常勤看護師の配置 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】17名 【その他】 ・肢体不自由特別支援学校7校と知肢併設校1校に、計16名を配置。	常勤看護師の配置 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】17名 【その他】 ・肢体不自由特別支援学校7校と知肢併設校1校に、計16名を配置。 ・令和6年度より主任看護師を配置するため、常勤看護師を1名増員。
	非常勤看護師の配置(教員定数活用) 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】13名 【その他】 ・教員定数を活用して配置している非常勤看護師。	非常勤看護師の配置(教員定数活用) 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 【内容】愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 【報酬支給人数】13名 【その他】 ・教員定数を活用して配置している非常勤看護師。